

令和 7 年 度

曾於市公共下水道事業會計  
決 算 審 查 意 見 書

曾於市監查委員

曾 監 第 13 号  
令和 8 年 8 月 18 日

曾於市長 竹田 正博 殿

曾於市監査委員 野村 行雄  
同 伊地知厚仁

曾於市公共下水道事業会計決算審査意見の提出について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された、令和 7 年度曾於市公共下水道事業会計決算及び関係書類を審査した結果について、次のとおり意見を提出します。

## 目 次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 第1 審査の概要           | 4  |
| 1 審査の対象            | 4  |
| 2 審査の期間            | 4  |
| 3 審査の方法            | 4  |
| 第2 審査の結果           | 4  |
| 1 下水道事業の概況         | 5  |
| (1)業務実績            | 5  |
| (2)建設改良工事等         | 5  |
| 2 予算の執行状況          | 5  |
| (1)収益的収入及び支出       | 5  |
| ア収益的収入             | 5  |
| イ収益的支出             | 5  |
| (2)資本的収入及び支出       | 6  |
| ア資本的収入             | 6  |
| イ資本的支出             | 6  |
| ウ資本的収支及び補てん財源      | 7  |
| 3 経営成績             | 7  |
| (1)総収益             | 7  |
| (2)総費用             | 7  |
| (3)純利益             | 8  |
| (4)汚水処理原価等         | 8  |
| (5)経営分析            | 8  |
| ア経営状況              | 8  |
| イ施設の利用状況           | 9  |
| 4 財政状態             | 9  |
| (1)資産              | 9  |
| (2)負債              | 10 |
| (3)資本              | 10 |
| (4)未収金             | 10 |
| (5)企業債             | 10 |
| (6)財務比率            | 11 |
| (7)現金預金保有額及び内部留保資金 | 11 |
| (8)特別損失            | 12 |
| 5 資金の状況            | 12 |
| 6 むすび              | 12 |
| 別表1 比較貸借対照表（消費税抜）  | 14 |
| 別表2 キャッシュフロー計算書    | 15 |

# 令和 7 年度曾於市公共下水道事業会計決算審査意見書

## 第 1 審査の概要

### 1 審査の対象

令和 7 年度曾於市公共下水道事業会計決算

### 2 審査の期間

令和 8 年 6 月 15 日から 8 月 17 日まで

### 3 審査の方法

この決算審査にあたっては、令和 8 年 6 月 2 日付けで市長から提出された決算書類が、地方公営企業法第 3 条に規定されている当該事業の経営の公共性、経済性の目的に従って下水道事業の経営成績及び財政状態は適正に表示されているか、さらに予算の執行が効果的、かつ的確になされているか等に主眼をおき、関係職員の説明を聴取し、関係帳票、証拠書類との照合をはじめ計数の分析を行いながら実施した。

## 第 2 審査の結果

審査に付された曾於市公共下水道事業会計の決算諸表は関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿とも合致し、かつ当該年度における曾於市公共下水道事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められる。

なお、事業の概況、予算の執行状況、経営成績及び財政状態は次のとおりである。

## 1 下水道事業の概況

### (1) 業務実績

当年度末における総接続戸数は1,905戸で、前年度と比較すると21戸の増、接続率は75.63%で、前年度比と0.72ポイントの増となっている。

年間総処理水量は364,434 m<sup>3</sup>で、前年度と比較すると2,600 m<sup>3</sup>の増となっている。

有収水量は363,005 m<sup>3</sup>で、前年度と比較すると2,451 m<sup>3</sup>の増となっている。

### 業務実績

| 区 分           | 単 位            | 令和7年度   | 令和6年度   | 増 減   |
|---------------|----------------|---------|---------|-------|
| 現 在 人 口       | 人              | 31,120  | 31,825  | △ 705 |
| 処 理 区 域 内 人 口 | 人              | 3,750   | 3,875   | △ 125 |
| 水 洗 化 人 口     | 人              | 2,836   | 2,903   | △ 67  |
| 総 接 続 戸 数     | 戸              | 1,905   | 1,884   | 21    |
| 接 続 率         | %              | 75.63   | 74.91   | 0.72  |
| 年 間 総 処 理 水 量 | m <sup>3</sup> | 364,434 | 361,834 | 2,600 |
| 1日平均処理水量（晴天時） | m <sup>3</sup> | 1,083   | 1,075   | 8     |
| 1日最大処理水量（晴天時） | m <sup>3</sup> | 1,126   | 1,118   | 8     |
| 有 収 水 量       | m <sup>3</sup> | 363,005 | 360,554 | 2,451 |

### (2) 建設改良工事等

当年度の建設工事等を行わなかった。

## 2 予算の執行状況

### (1) 収益的収入及び支出

#### ア 収益的収入

決算額は242,796,547円で、予算額242,111,000円に対し、100.3%の収入率となっている。

決算額を前年度と比較すると5,142,959円の増となっている。これは営業収益が440,690円、営業収益外が4,702,269円の増となったことによるものである。

### 収益的収入の決算状況(消費税込)

(単位:円、%)

| 科 目       | 予 算 額       | 決 算 額       | 増 減       | 収入率   | 前年度決算額      | 増 減       |
|-----------|-------------|-------------|-----------|-------|-------------|-----------|
| 下水道事業収益   | 242,111,000 | 242,796,547 | 685,547   | 100.3 | 237,653,588 | 5,142,959 |
| 営 業 収 益   | 47,715,000  | 49,213,000  | 1,498,000 | 103.1 | 48,772,310  | 440,690   |
| 営 業 外 収 益 | 194,394,000 | 193,583,547 | △ 810,453 | 99.6  | 188,881,278 | 4,702,269 |
| 特 別 利 益   | 2,000       | 0           | △ 2,000   | -     | 0           | 0         |

## イ 収益的支出

決算額は179,092,078円で、予算額193,530,000円に対する執行率は92.5%となっている。不用額は14,437,922円である。

決算額を前年度と比較すると19,321,145円の減となっている。これは営業費用20,979,814円の減となったことによるものである。

また、不用額の主なものは営業費用13,841,925円である。

### 収益的支出の決算状況(消費税込)

(単位:円、%)

| 科 目       | 予 算 額       | 決 算 額       | 不 用 額      | 執行率  | 前年度決算額      | 増 減          |
|-----------|-------------|-------------|------------|------|-------------|--------------|
| 下水道事業費用   | 193,530,000 | 179,092,078 | 14,437,922 | 92.5 | 198,413,223 | △ 19,321,145 |
| 営 業 費 用   | 170,611,000 | 156,769,075 | 13,841,925 | 91.9 | 177,748,889 | △ 20,979,814 |
| 営 業 外 費 用 | 21,653,000  | 21,558,333  | 94,667     | 99.6 | 20,567,354  | 990,979      |
| 特 別 損 失   | 1,265,000   | 764,670     | 500,330    | 60.4 | 96,980      | 667,690      |
| 予 備 費     | 1,000       | 0           | 1,000      | -    | 0           | 0            |

## (2) 資本的収入及び支出

### ア 資本的収入

決算額は49,144,340円であり、予算額125,000,000円に対する執行率は39.3%となっている。

決算額を前年度と比較すると35,435,940円の増となっている。これは主に企業債23,800,000円、国庫補助金12,000,000円がそれぞれ増になったことによるものである。

### 資本的収入の決算状況(消費税込)

(単位:円、%)

| 科 目       | 予 算 額       | 決 算 額      | 増 減          | 執行率   | 前年度決算額     | 増 減        |
|-----------|-------------|------------|--------------|-------|------------|------------|
| 資本的収入     | 125,000,000 | 49,144,340 | △ 75,855,660 | 39.3  | 13,708,400 | 35,435,940 |
| 企 業 債     | 72,600,000  | 34,600,000 | △ 38,000,000 | 47.7  | 10,800,000 | 23,800,000 |
| 負 担 金 等   | 2,400,000   | 2,544,340  | 144,340      | 106.0 | 2,908,400  | △ 364,060  |
| 国 庫 補 助 金 | 50,000,000  | 12,000,000 | △ 38,000,000 | 24.0  | 0          | 12,000,000 |

### イ 資本的支出

決算額は147,351,743円で、予算額224,203,000円に対する執行率は65.7%となっている。不用額は76,851,257円である。

決算額を前年度と比較すると32,351,778円の増となっている。主なものは建設改良費25,829,000円が増となったことによるものである。

また、不用額の主なものは建設改良費である。

### 資本的支出の決算状況(消費税込)

(単位:円、%)

| 科 目       | 予 算 額       | 決 算 額       | 不 用 額      | 執行率  | 前年度決算額      | 増 減        |
|-----------|-------------|-------------|------------|------|-------------|------------|
| 資本的支出     | 224,203,000 | 147,351,743 | 76,851,257 | 65.7 | 114,999,965 | 32,351,778 |
| 建 設 改 良 費 | 102,500,000 | 25,829,000  | 76,671,000 | 25.2 | 0           | 25,829,000 |
| 企業債償還金    | 121,703,000 | 121,522,743 | 180,257    | 99.9 | 114,999,965 | 6,522,778  |

### ウ 資本的収支及び補てん財源

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 98,207,403 円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 2,348,091 円、損益勘定留保資金 60,103,687 円（減価償却費 60,103,687 円）、利益剰余金 35,755,625 円（繰越利益剰余金 35,755,625 円）、で補てんされている。

## 3 経営成績

### (1) 総収益

総収益は営業収益、営業外収益からなり、収益は 238,370,697 円で、前年と比較すると 5,103,649 円の増となっている。これは主に他会計補助金 1,001,000 円、長期前受金戻入 1,119,442 円が減となったが、主に資本費繰入収益 6,596,000 円が増となったことによるものである。

#### 損益計算書

##### 収益の部(消費税抜)

(単位:円)

| 勘 定 科 目   | 令和 7 年度     | 令和 6 年度     | 増 減         |
|-----------|-------------|-------------|-------------|
| 営業収益      | 44,787,150  | 44,385,770  | 401,380     |
| 下水道使用料    | 44,691,750  | 44,289,470  | 402,280     |
| その他の営業収益  | 95,400      | 96,300      | △ 900       |
| 営業外収益     | 193,583,547 | 188,881,278 | 4,702,269   |
| 受取利息及び配当金 | 314,698     | 81,787      | 232,911     |
| 他会計補助金    | 14,042,000  | 15,043,000  | △ 1,001,000 |
| 長期前受金戻入   | 57,522,309  | 58,641,751  | △ 1,119,442 |
| 資本費繰入収益   | 121,703,000 | 115,107,000 | 6,596,000   |
| 雑 収 益     | 1,540       | 7,740       | △ 6,200     |
| 合 計       | 238,370,697 | 233,267,048 | 5,103,649   |

### (2) 総費用

総費用は営業費用、営業外費用及び特別損失からなり、費用は 177,014,319 円で、前年度と比較すると 17,012,364 円の減となっている。これは主に雑支出 2,462,353 円が増となったが、処分場費 8,449,857 円、総係費 10,713,649 円などがそれぞれ減となったことによるものである。

## 損益計算書

### 費用の部(消費税抜)

(単位:円)

| 勘 定 科 目                      | 令和 7 年度     | 令和 6 年度     | 増 減          |
|------------------------------|-------------|-------------|--------------|
| 営業費用                         | 154,600,064 | 173,752,070 | △ 19,152,006 |
| 管 渠 費                        | 25,900      | 14,400      | 11,500       |
| 処 理 場 費                      | 20,505,752  | 28,955,609  | △ 8,449,857  |
| 総 係 費                        | 16,442,416  | 27,156,065  | △ 10,713,649 |
| 減 価 償 却 費                    | 117,625,996 | 117,625,996 | 0            |
| 資 産 減 耗 費                    | 0           | 0           | 0            |
| 営業外費用                        | 21,649,715  | 20,178,093  | 1,471,622    |
| 支 払 利 息 及 び<br>企 業 債 取 扱 諸 費 | 14,032,223  | 15,022,954  | △ 990,731    |
| 雑 支 出                        | 7,617,492   | 5,155,139   | 2,462,353    |
| 特別損失                         | 764,540     | 96,520      | 668,020      |
| 過年度損益修正損                     | 764,540     | 96,520      | 668,020      |
| 合 計                          | 177,014,319 | 194,026,683 | △ 17,012,364 |
| 当 年 度 純 利 益                  | 61,356,378  | 39,240,365  | 22,116,013   |

### (3) 純利益

総収益から総費用を差し引いた純利益は 61,356,378 円で、前年度と比較すると 22,116,013 円の増となっている。

### (4) 汚水処理原価等

汚水処理原価は 485.53 円であり、使用料単価(下水道料金)が 123.12 円であることから、1 m<sup>3</sup>当り 362.41 円の赤字となっている。

## 汚水処理原価

(単位:円)

| 区 分    | 令和 7 年度 | 令和 6 年度 | 増 減     | 算 式                                  |
|--------|---------|---------|---------|--------------------------------------|
| 使用料単価  | 123.12  | 122.84  | 0.28    | $\frac{\text{使用料収入}}{\text{年間有収水量}}$ |
| 汚水処理原価 | 485.53  | 537.87  | △ 52.34 | $\frac{\text{汚水処理費}}{\text{年間有収水量}}$ |
| 維持管理費  | 101.86  | 155.67  | △ 53.81 | $\frac{\text{維持管理費}}{\text{年間有収水量}}$ |

### (5) 経営分析

#### ア 経営状況

収支比率の状況を見ると、総収支比率が 134.66%、経常収支比率が 135.25%、営業収支比率が 28.97%となっている。

前年度と比較すると、総収支比率は 14.44 ポイント、経常収支比率は 14.97 ポイント、営業収支比率は 3.47 ポイントとそれぞれ増となっている。

## 収支比率の状況

(単位：％)

| 区 分         | 令和 7 年度 | 令和 6 年度 | 増 減   | 算 式                                                |
|-------------|---------|---------|-------|----------------------------------------------------|
| 総 収 支 比 率   | 134.66  | 120.22  | 14.44 | $\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$     |
| 経 常 収 支 比 率 | 135.25  | 120.28  | 14.97 | $\frac{\text{経 常 収 益}}{\text{経 常 費 用}} \times 100$ |
| 営 業 収 支 比 率 | 28.97   | 25.50   | 3.47  | $\frac{\text{営 業 収 益}}{\text{営 業 費 用}} \times 100$ |

注 1 総収支比率は総収益と総費用を対比したもので、収益と費用の相対的な関連を示すもの。

2 経常収支比率は経常的な収益と費用の関連を示すものである。100%未満であることは、経常損失が生じていることを意味する。なお、総収支比率、経常収支比率の差異は特別損失によるものである。

3 営業収支比率は営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示すものである。この比率が高いほど営業利益率が良いことを表し、これが100%未満であることは営業損失が生じていることを意味する。

## イ 施設の利用状況

施設の利用状況を見ると、施設利用率は 77.36%、負荷率は 96.18%、最大稼働率は 80.43%となっている。

前年度と比較すると、施設利用率は 0.57 ポイント、負荷率は 0.03 ポイント、最大稼働率は 0.57%とそれぞれ増となっている。

## 下水道施設利用状況

(単位：％)

| 区 分       | 令和 7 年度 | 令和 6 年度 | 増 減  | 算 式                                                            |
|-----------|---------|---------|------|----------------------------------------------------------------|
| 施 設 利 用 率 | 77.36   | 76.79   | 0.57 | $\frac{\text{一日平均処理水量（晴天時）}}{\text{計 画 処 理 能 力}} \times 100$   |
| 負 荷 率     | 96.18   | 96.15   | 0.03 | $\frac{\text{一日平均処理水量（晴天時）}}{\text{一日最大処理水量（晴天時）}} \times 100$ |
| 最 大 稼 働 率 | 80.43   | 79.86   | 0.57 | $\frac{\text{一日最大処理水量（晴天時）}}{\text{計 画 処 理 能 力}} \times 100$   |

注 1 施設利用率は、経済性を総合的に判断する指標であり、1日処理能力に対する1日平均処理水量の比率で、施設の稼働している割合を示しており、一般的にその比率が高いほど効率的であるとされている。

2 負荷率は、経営効率を判断する指標の一つであり、1日最大処理水量に対する1日平均処理水量の率で、施設が平均的に稼働している割合を示しており、一般的にその比率が高いほど効率的であるとされている。

3 最大稼働率は、1日処理能力に対する1日最大処理水量の比率で、施設の利用状況の割合を示しており、一般的にその比率が高いほど効率的であるとされている。

## 4 財政状態

財政状態を示す貸借対照表は、別表 1 のとおりである。

### (1) 資産

資産総額は 3,118,279,618 円で、前年度と比較すると 70,383,234 円の減となっている。

資産総額のうち、固定資産は 3,019,397,758 円で前年度と比較すると 94,145,087 円の減である。これは有形固定資産のうち建物 17,862,763 円、構築物 62,119,606 円、機械及び装置が 37,613,627 円が減となり、建設仮勘定 23,480,909 円が増となったことによるものである。

また、流動資産は98,881,860円で、前年度と比較すると23,761,853円の増である。これは未収金292,610円が減になり、現金預金24,054,463円が増となったことによるものである。

## (2) 負債

負債総額は2,565,691,516円で、前年度と比較すると134,283,952円の減となっている。

負債総額のうち、固定負債は967,131,765円で前年度と比較すると89,950,963円の減である。これは企業債の減によるものである。

流動負債は129,265,232円で、前年度と比較すると1,189,320円の増である。これは企業債3,028,820円が増となったことが主な要因である。

繰延収益は1,469,294,519円で、前年度と比較すると45,522,309円の減である。これは収益化累計額が減によるものである。

## (3) 資本

資本総額は552,588,102円で、前年度と比較すると63,900,718円の増となっている。

資本総額のうち、資本金は318,788,953円で前年度と比較すると2,544,340円の増である。

剰余金は233,799,149円で、前年度と比較すると61,356,378円の増である。これは当年度末処分利益剰余金の増によるものである。

## (4) 未収金

当年度末未収金は7,874,650円で、前年度と比較すると292,610円の減となっている。なお、未収金は5月末日までに6,505,790円が収納されており、未収金額は1,368,860円で、前年度と比較すると875,130円の増となっている。

### 未収金の状況

(単位:円)

| 未 収 金     | 5/31まで収納  | 6/1 未 収 金 | 前年度未収金    | 前年度6/1未収金 | 未収金増減     | 6/1未収金増減 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 7,874,650 | 6,505,790 | 1,368,860 | 8,167,260 | 493,730   | △ 292,610 | 875,130  |

## (5) 企業債

企業債は34,600,000円を新規発行し、年度中に121,522,743円償還している。当年度末未償還残高は1,091,806,897円である。

### 企業債発行償還状況

(単位:円)

| 既 発 行 額       | 令和7年度発行額   | 発 行 総 額       | 償還額         | 償 還 高 累 計     | 未 償 還 残 高     |
|---------------|------------|---------------|-------------|---------------|---------------|
| 2,615,900,000 | 34,600,000 | 2,650,500,000 | 121,522,743 | 1,558,693,103 | 1,091,806,897 |

## (6) 財務比率

財務比率についてみると、総資本に対する自己資本の占める割合を示す自己資本構成比率は64.84%で、前年度と比較して2.01ポイントの増となっている。

長期資本に対する固定資産の割合を示す固定長期適合率は101.02%で、前年度と比較して0.71ポイントの減となっている。

流動負債に対する流動資産の割合を示す流動比率は76.50%で、前年度と比較して17.85ポイントの増となっている。

### 財務比率の状況

(単位：%)

| 区 分                      | 令和7年度  | 令和6年度  | 増 減    | 算 式                                                                                     |
|--------------------------|--------|--------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 自 己 資 本<br>構 成 比 率       | 64.84  | 62.83  | 2.01   | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$        |
| 固 定 資 産 対<br>長 期 資 本 比 率 | 101.02 | 101.73 | △ 0.71 | $\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$ |
| 流 動 比 率                  | 76.50  | 58.65  | 17.85  | $\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$                                      |

注1 自己資本構成比率は、総資本に占める自己資本の割合であり、その比率が高いほど健全性が高いとされている。

2 固定資産対長期資本比率（固定長期適合率）は、固定資産が長期に安定した資本によって賄われているかどうかをみるもので、固定資産の調達に自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきとの立場から、その比率は100%以下が望ましいとされる。

3 流動化比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表している。その比率が100%を超えて高いほど支払能力が高いとされている。

## (7) 現金預金保有額及び内部留保資金

今年度末の現金預金保有額は91,007,210円で、前年度末より24,054,463円の増となっている。

内部留保資金は、下の表のとおりとなっている。

また、今年度使用額は、資本的収支の補てん財源と一致している。

### 内部留保資金

(単位:円)

| 区 分                    | 前年度からの<br>繰 越 額 | 増加分          | 使用額        | 翌年度繰越額        | 剰余金処分案      |
|------------------------|-----------------|--------------|------------|---------------|-------------|
| 消費税及び地方消費税<br>資本的収支調整額 | 0               | 2,348,091    | 2,348,091  | 0             |             |
| 損益勘定留保資金               | 0               | 60,103,687   | 60,103,687 | 0             |             |
| 長期前受金戻入                | △ 290,201,203   | △ 57,522,309 | 0          | △ 347,723,512 |             |
| 減 価 償 却 費              | 290,201,203     | 117,625,996  | 60,103,687 | 347,723,512   |             |
| 資 産 減 耗 費              | 0               | 0            | 0          | 0             |             |
| 利益剰余金                  | 75,619,849      | 61,356,378   | 35,755,625 | 101,220,602   | 229,399,149 |
| 減 債 積 立 金              | 0               | 0            | 0          | 0             | 0           |
| 建 設 改 良 積 立 金          | 0               | 0            | 0          | 0             | 0           |
| 繰越利益剰余金                | 75,619,849      | 0            | 35,755,625 | 101,220,602   | 229,399,149 |
| 当 年 度 純 利 益            |                 | 61,356,378   | 0          | 0             |             |
| 合 計                    | 75,619,849      | 123,808,156  | 98,207,403 | 101,220,602   | 229,399,149 |

#### (8) 特別損失

特別損失は過年度損益修正損であり、その内訳は過年度の消費税還付分を受け入れたことに伴う調整額 746,380 円と不納欠損処分 18,290 円である。

#### 特別損失の状況

(単位：円)

| 区 分      | 令和 7 年度 | 令和 6 年度 | 増 減     |
|----------|---------|---------|---------|
| 過年度損益修正損 | 764,670 | 96,520  | 668,150 |

#### 5 資金の状況

現金預金の増減要因を示すキャッシュ・フロー計算書は別表 2 のとおりである。

当年度末における業務活動によるキャッシュ・フローは 122,261,866 円で、前年度と比較すると 18,131,831 円の増となっている。

当年度末における投資活動によるキャッシュ・フローは△11,284,660 円で、前年度と比較すると 14,193,060 円の減である。

当年度末における財務活動によるキャッシュ・フローは△86,922,743 円で、前年度と比較すると 20,597,429 円の増である。

この結果、当年度の資金は 24,054,463 円の増で、資金期末残高は 91,007,210 円となっている。資金期末残高は、貸借対照表における現金預金の額と符合している。

#### 6 むすび

業務実績においては、接続戸数は前年度と比較して 21 戸増加しており、接続率は 75.63%となっている。今後とも接続向上に努められたい。

有収水量は 363,005 m<sup>3</sup>であり、前年度と比較して 2,451 m<sup>3</sup>増加したが、処理区域内人口の減少や節水機器の普及、企業の水使用における経費削減の取り組みなどで減少していくものと思われる。安全で快適な生活環境や河川等の水質を保全するために、今後も努められたい。

資本的収支については、98,207,403 円の財源不足となり、不足する額は当年度分損益勘定留保資金 60,103,687 円、利益剰余金 35,755,625 円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 2,348,091 円で補てんした。

経営状況については、総収益は前年度と比較して 5,103,649 円増加し、238,370,697 円となった。下水道使用料は 44,691,750 円で、前年度と比較して 402,280 円の増となっている。

総費用は前年度と比較して 17,012,364 円減少し、177,014,319 円となり、総収益から総費用を差し引きした結果、61,356,378 円の純利益を確保していることから経営の健全性は保たれている。

しかしながら、使用料単価 123.12 円と汚水処理原価 485.53 円を比較すると、362.41 円の原価割れになっている。

また、事業を経営していくための財源の根幹となる下水道使用料については、人口の減少に同調して公共下水道使用者人口が減少し、有収水量も減少していくと予測されることから、大幅な収益の増加が見込めない状況であり、引き続き一般会計からの補助金を充てた事業運営が必要となる。普段の資金計画に留意するとともに、効率的で効果的な事業運営に努められるよう期待する。

下水道事業全体の未収金は 7,874,650 円となっている。これは、使用料の未収が主な要因である。6 月 1 日現在の未収金は 1,368,860 円である。

使用料の徴収対策については、これまでも徴収努力を行っているが、当年度の不納欠損処分額は 18,290 円であり、今後も納入意識の低い滞納者等に対しては、負担の公平性を図るためにも課内で緊密な連携を図りながら徴収強化に取り組まれない。

公共下水道事業においては、ここ数年事業区域見直しや区域内の住宅建築により、接続戸数は増加しているものの、処理区域内人口や水洗化人口は減少している状況である。

人口減少や節水型社会への移行により使用料収益の減少や施設の老朽化に伴う更新費用の増加、施設の維持管理経費の上昇も見込まれることから、下水道事業の経営状況は年々厳しくなっているのが現状である。

しかしながら投資も必要であり、既存施設が故障した場合における代替設備がないことから、下水道が使用できない恐れがあり非常に危惧すべき状況である。今後はさらに老朽化で維持管理費も増加することが推測されることから、早急に使用料金の改正に取り組んでほしい。

今後も「曾於市下水道事業経営戦略」に基づく中長期を見据えた施策を計画的に推進し、公共用水域の水質保全や安全で快適な生活環境維持、一部の施設の増設計画等に引き続き早急な対応に努められたい。

別表 1

## 比較貸借対照表（消費税抜）

（単位:円）

| 資 産 の 部     |                |                |                        |                        |
|-------------|----------------|----------------|------------------------|------------------------|
| 勘定科目        | 令和 7 年度<br>(A) | 令和 6 年度<br>(B) | 前年度比較                  |                        |
|             |                |                | 増 減<br>(C) = (A) - (B) | 増減率 (%)<br>(C)/(B)×100 |
| 1 固定資産      | 3,019,397,758  | 3,113,542,845  | △ 94,145,087           | △ 3.0                  |
| (1)有形固定資産   | 3,019,397,758  | 3,113,542,845  | △ 94,145,087           | △ 3.0                  |
| 土 地         | 17,092,549     | 17,092,549     | 0                      | 0.0                    |
| 建 物         | 620,763,819    | 638,656,582    | △ 17,892,763           | △ 2.8                  |
| 構 築 物       | 2,117,543,435  | 2,179,663,041  | △ 62,119,606           | △ 2.8                  |
| 機 械 及 び 装 置 | 240,517,046    | 278,130,673    | △ 37,613,627           | △ 13.5                 |
| 建設仮勘定       | 23,480,909     | 0              | 23,480,909             | 100.0                  |
| 2 流動資産      | 98,881,860     | 75,120,007     | 23,761,853             | 31.6                   |
| (1)現金預金     | 91,007,210     | 66,952,747     | 24,054,463             | 35.9                   |
| (2)未収金      | 7,874,650      | 8,167,260      | △ 292,610              | △ 3.6                  |
| 資 産 合 計     | 3,118,279,618  | 3,188,662,852  | △ 70,383,234           | △ 2.2                  |

（単位:円）

| 負 債 ・ 資 本 の 部  |                |                |                        |                        |
|----------------|----------------|----------------|------------------------|------------------------|
| 勘定科目           | 令和 7 年度<br>(A) | 令和 6 年度<br>(B) | 前年度比較                  |                        |
|                |                |                | 増 減<br>(C) = (A) - (B) | 増減率 (%)<br>(C)/(B)×100 |
| 3 固定負債         | 967,131,765    | 1,057,082,728  | △ 89,950,963           | △ 8.5                  |
| (1)企業債         | 967,131,765    | 1,057,082,728  | △ 89,950,963           | △ 8.5                  |
| 4 流動負債         | 129,265,232    | 128,075,912    | 1,189,320              | 0.9                    |
| (1)企業債         | 124,675,132    | 121,646,912    | 3,028,220              | 2.5                    |
| (2)未払金         | 3,237,100      | 5,076,000      | △ 1,838,900            | △ 36.2                 |
| (3)引当金         | 1,353,000      | 1,353,000      | 0                      | 0.0                    |
| 5 繰延収益         | 1,469,294,519  | 1,514,816,828  | △ 45,522,309           | △ 3.0                  |
| (1)長期前受金       | 1,817,018,031  | 1,805,018,031  | 12,000,000             | 0.7                    |
| (2)収益化累計額      | △ 347,723,512  | △ 290,201,203  | △ 57,522,309           | 19.8                   |
| 負 債 合 計        | 2,565,691,516  | 2,699,975,468  | △ 134,283,952          | △ 5.0                  |
| 6 資本金          | 318,788,953    | 316,244,613    | 2,544,340              | 0.8                    |
| 7 剰余金          | 233,799,149    | 172,442,771    | 61,356,378             | 35.6                   |
| (1)資本剰余金       | 4,400,000      | 4,400,000      | 0                      | —                      |
| (2)当年度未処分利益剰余金 | 229,399,149    | 168,042,771    | 61,356,378             | 36.5                   |
| 資 本 合 計        | 552,588,102    | 488,687,384    | 63,900,718             | 13.1                   |
| 負 債 ・ 資 本 合 計  | 3,118,279,618  | 3,188,662,852  | △ 70,383,234           | △ 2.2                  |

別表 2

## 曾於市公共下水道事業会計キャッシュ・フロー計算書

(単位:円)

| 区 分                         | 令和 7 年度             | 令和 6 年度              | 増 減                 |
|-----------------------------|---------------------|----------------------|---------------------|
| <b>I 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>   |                     |                      |                     |
| 当年度純利益                      | 61,356,378          | 39,240,365           | 22,116,013          |
| 減価償却費                       | 117,625,996         | 117,625,996          | 0                   |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少)            | 0                   | 181,000              | △ 181,000           |
| 法定福利費引当金の増減額 (△は減少)         | 0                   | 52,000               | △ 52,000            |
| 長期前受金戻入額                    | △ 57,522,309        | △ 58,641,751         | 1,119,442           |
| 支払利息                        | 14,032,223          | 15,022,954           | △ 990,731           |
| 固定資産除去費                     | 0                   | 0                    | 0                   |
| 未収金の増減額 (△は増加)              | 292,610             | 1,026,980            | △ 734,370           |
| 未払金の増減額 (△は増加)              | △ 1,838,900         | 4,645,445            | △ 6,484,345         |
| 消費税及び地方消費税調整額               | 2,348,091           | 0                    | 2,348,091           |
| 小計                          | 136,294,089         | 119,152,989          | 17,141,100          |
| 利息の支払額                      | △ 14,032,223        | △ 15,022,954         | 990,731             |
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>     | <b>122,261,866</b>  | <b>104,130,035</b>   | <b>18,131,831</b>   |
| <b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>  |                     |                      |                     |
| 有形固定資産の取得による支出              | △ 25,829,000        | 0                    | △ 25,829,000        |
| 国庫補助金等による収入                 | 12,000,000          | 0                    | 12,000,000          |
| 受益者負担金等による収入                | 0                   | 0                    | 0                   |
| 一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入     | 2,544,340           | 2,908,400            | △ 364,060           |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>     | <b>△ 11,284,660</b> | <b>2,908,400</b>     | <b>△ 14,193,060</b> |
| <b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b> |                     |                      |                     |
| 建設改良等の財源に充てるための企業債による収入     | 34,600,000          | 10,800,000           | 23,800,000          |
| 建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出  | △ 121,522,743       | △ 118,320,172        | △ 3,202,571         |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>     | <b>△ 86,922,743</b> | <b>△ 107,520,172</b> | <b>20,597,429</b>   |
| <b>IV 資金増加 (減少) 額</b>       | <b>24,054,463</b>   | <b>△ 481,737</b>     | <b>24,536,200</b>   |
| <b>V 資金期首残高</b>             | <b>66,952,747</b>   | <b>67,434,484</b>    | <b>△ 481,737</b>    |
| <b>VI 資金期末残高</b>            | <b>91,007,210</b>   | <b>66,952,747</b>    | <b>24,054,463</b>   |